

自・公
立憲

相乗り市政を転換し、 住みよい小樽をつくりましょう

国いいなりの市政をチェンジ

日本共産党

財政が厳しいと言いながら、
まだまだ続く大型事業

新幹線負担金と新駅整備 20 億円
第3号ふ頭開発 24 億円
石狩湾新港の負担金 毎年 2.5 億円

石狩湾新港に、なぜ、毎年こんなにお金がかかるの？

石狩湾新港のムダづかい

新たなふ頭整備 92 億円
北防波堤延伸残事業 71 億円

赤字なのにコンテナのための機械を増設
年間 9 千万円 累計 13 億円の大赤字
木材チップの輸入なくなり、使用料収入なしの
チップ専用機械の借金返済に 年間 9 千万円

迫市政で増えた
石狩湾新港工事

石狩湾新港の当初予算と比較 石狩湾新港の直轄事業管理者負担

※管理者負担：北海道、小樽市、石狩市の負担分

2019 年度 迫市長就任前 5.3 億円
2022 年度 今年度 8.3 億円

一方で

学校給食費小学校低学年

3,910 円 → 4,150 円

40 歳～64 歳国保料
(所得割がかからない世帯)

一人世帯 17,200 円 → 21,810 円

二人世帯 26,590 円 → 32,680 円

ふれあいパス

利用制限 なし → 利用制限 年間 12 冊

このムダづかいにメスを入れ、
市民のくらしのためにお金を使います

日本共産党小樽地区委員会委員長

のろた博之

のろた博之のプロフィール

1958 年札幌市生まれ。立命館大学文学部地理学科卒業、北海道勤労者医療協会小樽診療所に勤務、2004 年日本共産党札幌西手稲地区委員会勤務。2015 年より党小樽地区委員長。趣味は釣り、音楽鑑賞、読書。家族は妻と一男。



のろた博之

おたる民報

2022 年
7 月号外

発行：日本共産党小樽地区委員会 小樽市稲穂 4 丁目 12 番 18 号 電話 0134-33-4433
日本共産党小樽地区委員会は、のろた博之地区委員長の経歴と政策を発表しましたので紹介します。